

1 学年通信『原:げん』

～暴力団排除教室から学ぶ、自分と周りを守るリアルな知識～

いよいよあと1ヶ月で夏休みが始まります。夏休みは部活動や勉強、趣味など、学校生活を離れてさらに自分を大きく成長させるチャンスです。普段から皆さんに伝えている通り、この3年間は「自らという原石を磨く」大切な時間です。しかし、中学生という原石を、傷つけ、壊そうと狙う悪い大人が社会には存在します。先日の「暴力団排除教室」を覚えていますか？犯罪やトラブルに巻き込まれてしまっただけでは、せっかくの原石が曇ってしまいます。解放感に流されず、「自らをコントロールする力(自律)」をもって、安全で充実した夏休みを過ごしてほしいと考えています。そこで暴力団排除教室の講師の先生から教えて頂いた3つのポイントを振り返ってみましょう。

原石を傷つける「夏休みの3つの罠」

① SNSの「闇バイト」～一生のキズを残すな～

罠：「高収入」「短時間で稼げる」「荷物を運ぶだけ」は、100%強盗や詐欺の犯罪です。

現実：一度でも応募すると、身分証の写真を悪用されたり、個人情報抜き取られたりなど、「家族に危害を加える」と脅されて辞められなくなります。逮捕され、未来を奪われるのは実行させられた中学生です。

対策：怪しい募集は「見ない・応募しない・すぐブロックすること」！

② 夜遊びとたむろ～隙を見れば狙われる～

罠：「夜の公園」「コンビニの前」などに夜遅くまでたまっていると、犯罪グループの標的になります。

現実：彼らは最初は「優しい先輩」「話を聞いてくれる良い人」として近づき、断れない状況を作ってから犯罪の身代わり利用します。

対策：地域のルールや門限を必ず守り、明るいうちに帰宅して自分を守ること！

③ ネットの出会い～画面の向こうの言葉を疑え～

罠：オンラインゲームやSNSで知り合った人と、簡単に「友達」になっていませんか？

現実：相手が本当に同世代の子どもとは限りません。正体を隠した暴力団関係者や犯罪者である危険が潜んでいます。

対策：自分に限らず、顔写真、制服、位置などがわかる投稿は絶対にNG。また直接会う約束なども絶対にしないこと。

一人で悩まず、すぐに相談を

もし、「怪しいことに首を突っ込んでしまった。」「脅されて断れない。」という事態になったら、すぐに担任の先生や保護者、警察に相談してください。学校は、皆さんの味方です。隠さずに早く話すことが、自分自身を、そして家族を守る唯一の方法です。**【警察の相談窓口(全国共通):#9110】**

保護者のみなさまへ

間もなく、子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。まとまった時間が取れる夏休みは、子どもたちが「自らという原石を磨く」絶好の機会です。しかし一方で、学校生活から離れるこの時期は、解放感やスマートフォンの利用増加に伴い、思わぬトラブルや犯罪に巻き込まれるリスクが高まる時期でもあります。先日、学校では県警の方をお招きして「暴力団排除教室」を実施いたしました。その中で最も強調されていたのは、「現代の犯罪は決して他人事ではなく、中学生のすぐ隣にある」という現実です。子どもたちの輝く未来を守るため、ぜひご家庭でも防犯についてお話しいただく機会を設けていただけますようお願いいたします。